

令和5年度 第2回白鳥中学校 学校運営協議会 実施報告書

1 日 時 令和5年7月4日(火) 8:00~9:30

2 場 所 校門 会議室

3 登校の様子、朝の会の様子の見学

《 登校の様子から 》

- ・小学校のところに関わった生徒が、自分のことを覚えていて嬉しく思った。
- ・「挨拶は先手必勝」というポスターが掲示されているが「先手必勝」になっていない。
- ・自転車のパンク等への対応は学校でできているのか？  
→以前は地域に修理してくれる所があった。  
→購入時に、学校に自転車を取りに来て、修理をしてくれるサービスを契約する自転車屋もある。
- ・ヘルメットのアゴひもがゆるい。

《 朝の会の様子から 》

- ・ロッカーの使い方、雑巾のかけ方が気になる。
- ・連絡黒板の「いつもの」が気になる。
- ・校内で迷っているときに案内してくれる生徒がいた。確実に生徒は育っている。

4 協議事項

(1) 生徒指導について(生徒指導主事から)

- ・「厳しい」指導から「ともに考える、学ぶ」指導に変化
- ・目標と方針の説明

《 指導死について 》

- ・指導死の報道は教育現場にとっても大きな影響を与えている。
- ・先生にとって当たり前であっても、生徒がどう感じるかはそれぞれであり、指導は難しい。
- ・カウンセリングマインドで生徒理解、背景をみるように努めている。
- ・高校でも、少し強く言うと、涙を流す生徒の姿もいる。丁寧に聞き取りをし、促す指導をしている。その生徒の持っている力を使って、反省をさせるようにし、教員が先回りしないように心がけている。

(2) 総勤務時間の縮減について(教頭から)

《 勤務時間の縮減 》

- ・学校内で工夫できる点と学校独自だけでなく行政、国のレベルでの変換が必要な内容もある。
- ・一般の企業では、何にどれだけの時間がかかっているか検証している。  
学校現場ではどうか？ワークサンプリングをなさいではないが、検証は必要。
- ・(企業では、業務を)削っても、その分なにか別の仕事が入ってくることもある。
- ・「勤務時間の縮減」の問題は、「学校の先生という職は不人気」という問題にもつながってくる。